

2022年8月期（第44期）第1四半期

決算補足説明資料

 ユーピーアール株式会社

（証券コード：7065）

2022年1月14日

やってみようupr

The logo consists of three orange dots of varying sizes arranged in a curve, with a thin orange line connecting them to form a partial circle.

Social Sharing Supporter

社会のインフラをシェアするUPR

「やってみようupr」をコーポレートメッセージにわくわく・楽しく挑戦する企業を目指しています。

木製パレットの製造業者として、山口県宇部市に創業し
「パレットを通じ人々の生活を便利にすること」を事業原点として社業発展に励んでまいりました。

人手不足などの社会的課題や、DXの加速、そして生活様式の変化が著しいなか、
「Social Sharing Supporter」としてステークホルダーの皆様とともに成長し、
物流+IoTの力で“シェア”による豊かな社会インフラの構築を実現してまいります。

2022年8月期（第44期） 第1四半期

決算補足説明資料



■会社概要	P. 3
■2022年8月期 第1四半期決算説明	P. 4
■2022年8月期 業績予想の修正について	P.14
■参考資料 1	P.21
■参考資料 2 2022年8月期 通期業績予想 (2021年10月15日 公表)	P.24

商号 ユーピーアール株式会社

設立 1979年3月

代表者 代表取締役 酒田 義矢

〒100-0011

東京本社 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル12F
TEL : 03-3593-1730 (代) FAX:03-3593-3020

所在地

〒755-0032

宇部本社 山口県宇部市寿町3-5-26
TEL : 0836-31-9020 (代) FAX:0836-31-9022

資本金 9,600万円

連結129億円 (2021年8月期)

売上高

単体125億円 (2021年8月期)

社員数 連結213名 (2021年8月期)

業務内容

- パレット・物流機器のレンタル及び販売事業
- 物流IoT事業
- アシストスーツ事業
- 海外事業
- ICT事業
- ビークルソリューション事業

拠点

デポ | 全国各地192ヶ所

営業拠点

国内 | 14拠点

札幌・仙台・関東・新潟・東京（第一・第二）、横浜
名古屋・静岡・大阪・岡山・四国・山口・福岡・南九州

海外 | 5拠点

シンガポール・タイ（2拠点）・マレーシア・ベトナム



2022年8月期 第1四半期決算説明

業績

売上高
3,302百万円

経常利益
465百万円

EBITDA※
1,115百万円

■ 対前年同期比、増収増益

(増減率 売上高：2.6% 経常利益：50.4% EBITDA：19.4%)

- レンタルパレットの稼働率は21.8期3Qで底を打ち、同4Qから22.8期1Qにかけて回復基調
- レンタル、販売、物流IoTおよびICT事業において対前年同期比増収
- 大口のレンタルパレット紛失処理が発生し、営業外収益に想定を超える受取補償金を計上

■ 通期業績予想に対しては堅調に推移

(進捗率 売上高：23.9% 経常利益：38.8% EBITDA：28.8%)

- 22.8期2Q業績予想については、進捗に大幅な乖離が生じたことから修正を行う
(詳細はP15ご参照)

※EBITDA = 税引前当期利益 + 減価償却費 + 支払利息

第1四半期のポイント

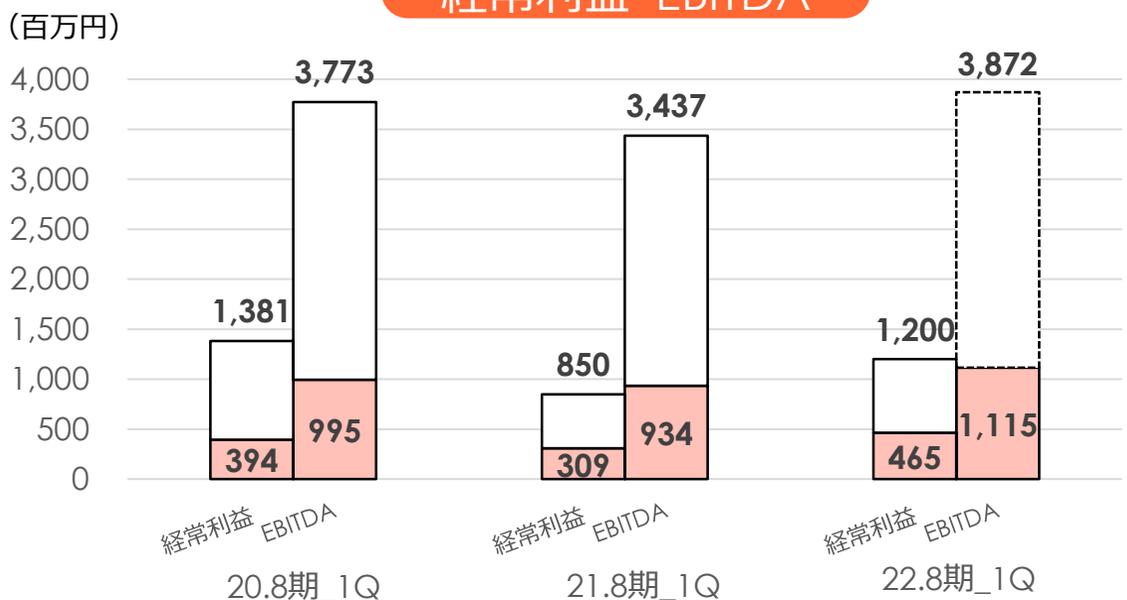
対前年同期比	事業	トピックス
増収	レンタル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上対前年同期比 + 0.1%と微増ではあるものの、21.8期1Q以来の増収 ■ 保管用レンタルパレットの需要も徐々に戻りつつあり、稼働率も回復基調 ■ 大口のレンタルパレット紛失処理が発生し、想定以上の受取補償金を計上
	販売	<ul style="list-style-type: none"> ■ 旺盛な物流拠点投資に支えられ、売上は対前年同期比 + 6.7%と順調
	物流IoT	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医薬品等の高付加価値商品輸送（GDP）需要を取り込み順調
	ICT	<ul style="list-style-type: none"> ■ 駐車場、エレベーターの遠隔監視や工場IoT（LoRaサービス）等に係る機器販売、及び新サービスである「UPR HACCP」導入店舗数が順調に推移
減収	アシストスーツ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 展示会中心の営業からオンライン体験会やWEB広告からの集客へ転換
	ビークルソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ■ 顧客のカーシェアリング車両納車遅延により車載器販売が予定を下回る

売上高



売上高
対前年同期比で
2.6%増収
通期業績予想に対し
23.9%進捗

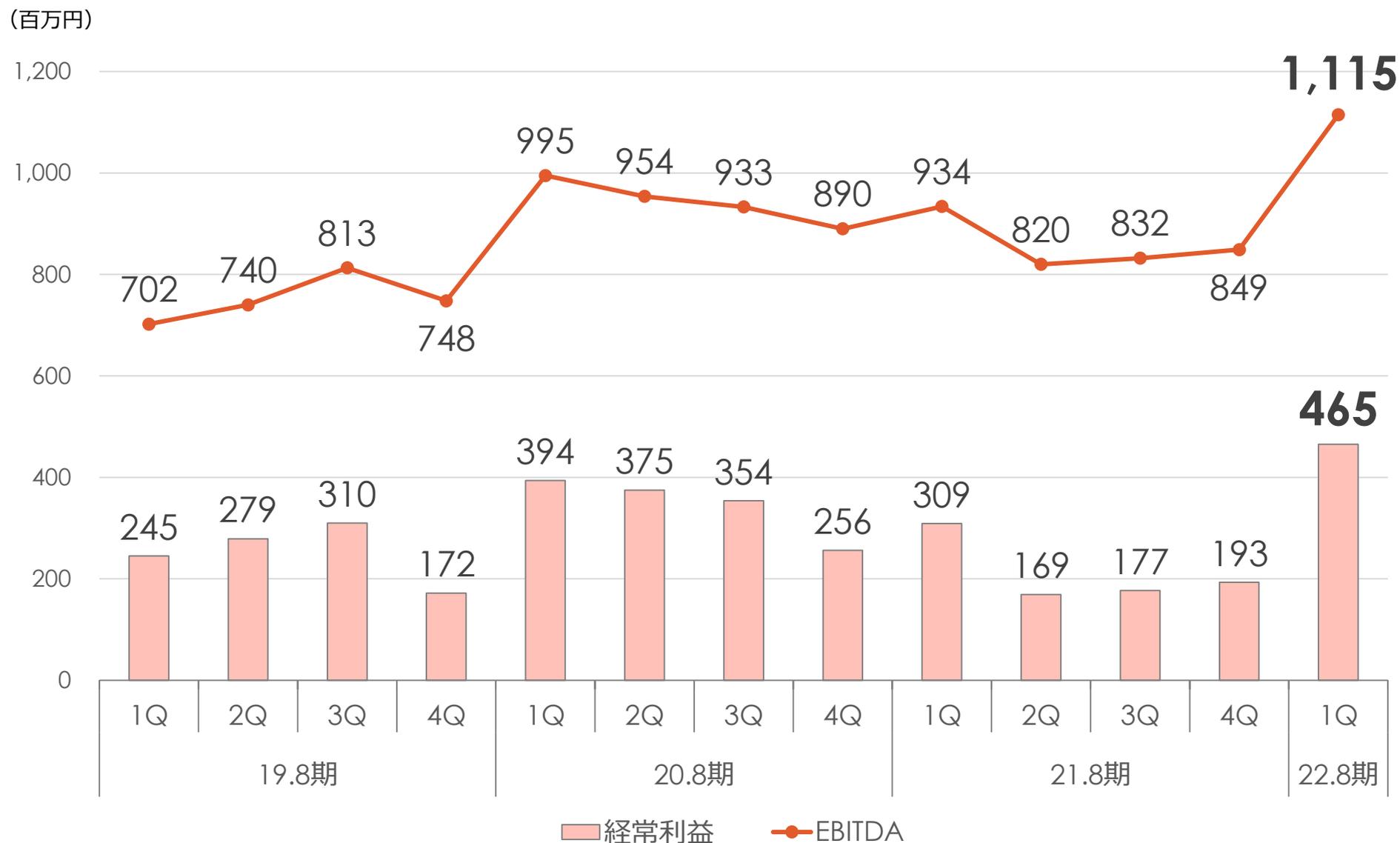
経常利益・EBITDA



経常利益
通期業績予想に対し
38.8%進捗

EBITDA
通期業績予想に対し
28.8%進捗

経常利益及びEBITDAの推移（四半期毎）



※19.8期第1四半期の各数値は金融商品取引法に基づく公認会計士監査を受けた数値ではありません。

(単位：百万円)

		21.8期_1Q	22.8期_1Q	対前年比		22.8期_2Q (業績予想)	対業績予想	22.8期_通期 (業績予想)	対業績予想
				増減額	増減率		進捗率		進捗率
物流事業	レンタル	2,170	2,172	1	0.1%	4,481	48.5%	9,360	23.2%
	販売	697	744	46	6.7%	1,324	56.2%	2,702	27.5%
	アシストスーツ	40	28	△12	△29.9%	97	28.9%	280	10.1%
	物流IoT	88	106	17	19.5%	232	45.6%	494	21.5%
	合計	2,997	3,051	54	1.8%	6,136	49.7%	12,837	23.8%
コネクティッド事業	ICT	111	163	52	46.9%	269	60.7%	572	28.6%
	ビークルソリューション	108	87	△21	△19.8%	168	51.9%	421	20.7%
	合計	220	250	30	14.0%	437	57.3%	993	25.3%
全社合計 (うち海外)		3,217 (128)	3,302 (154)	84 (26)	2.6% (20.3%)	6,574 (232)	50.2% (66.5%)	13,831 (467)	23.9% (33.1%)

損益計算書 (PL)

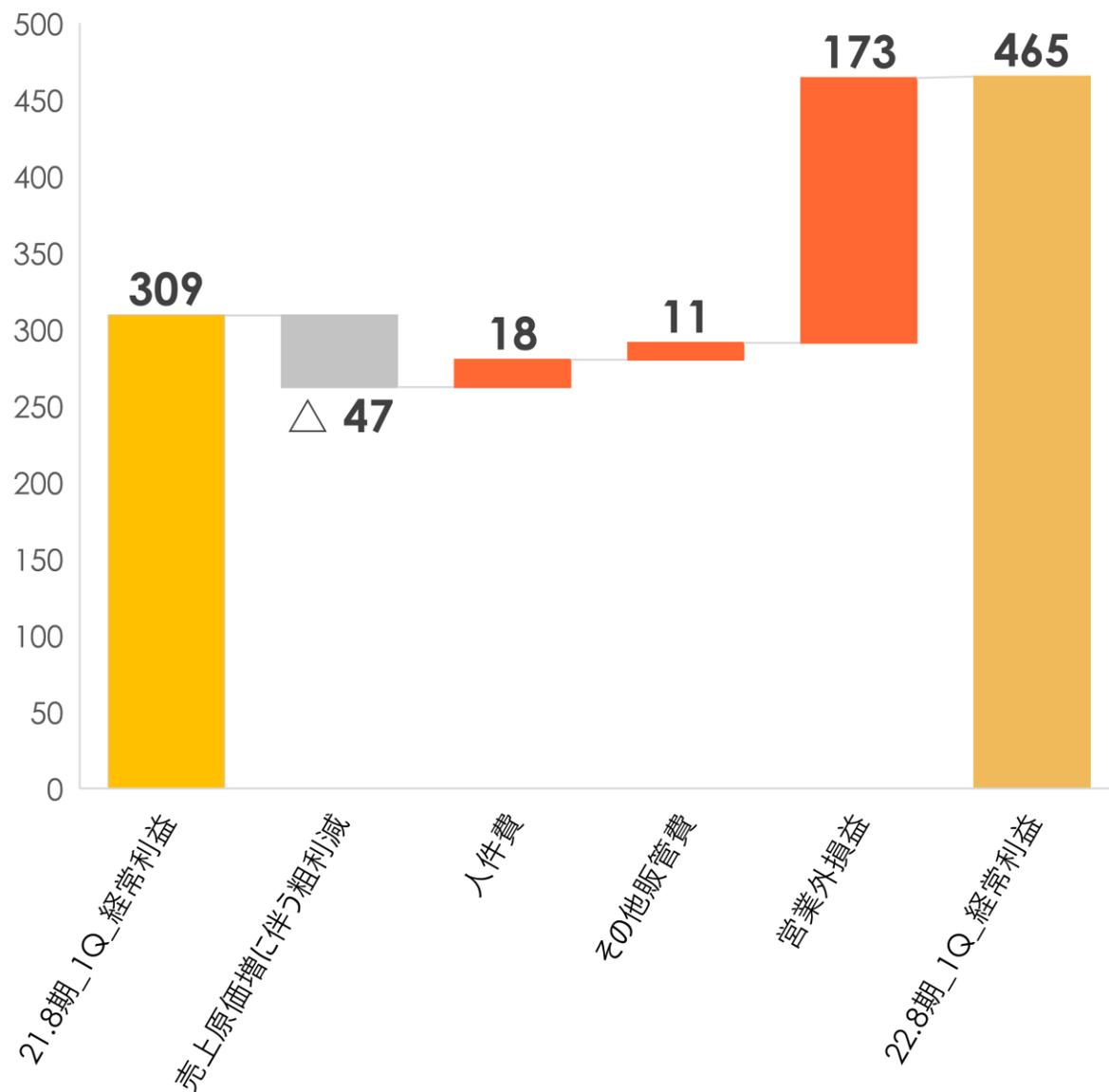


(単位：百万円)	21.8期_1Q	22.8期_1Q	対前年同期比		コメント
			増減額	増減率	
売上高	3,217	3,302	84	2.6%	レンタル事業は前期並まで回復 販売事業、ICT事業が増加
売上原価	2,134	2,266	132	6.2%	販売売上増加により売上原価率上昇
売上総利益	1,083	1,035	△47	△4.4%	
売上総利益率	33.7%	31.4%	△2.3pt	—	売上原価の上昇により売上総利益率悪化
販売費及び一般管理費	894	865	△29	△3.3%	P12を参照
販管費率	27.8%	26.2%	△1.6pt	—	
営業利益	188	170	△17	△9.4%	
営業利益率	5.9%	5.2%	△0.7pt	—	
経常利益	309	465	156	50.4%	想定以上の受取補償金計上
経常利益率	9.6%	14.1%	4.5pt	—	
当期純利益	199	298	98	49.4%	
当期純利益率	6.2%	9.0%	2.8pt	—	
設備投資額	933	707	△226	△24.2%	
減価償却費	622	644	22	3.5%	
EBITDA	934	1,115	181	19.4%	
研究開発費	11	13	1	10.6%	

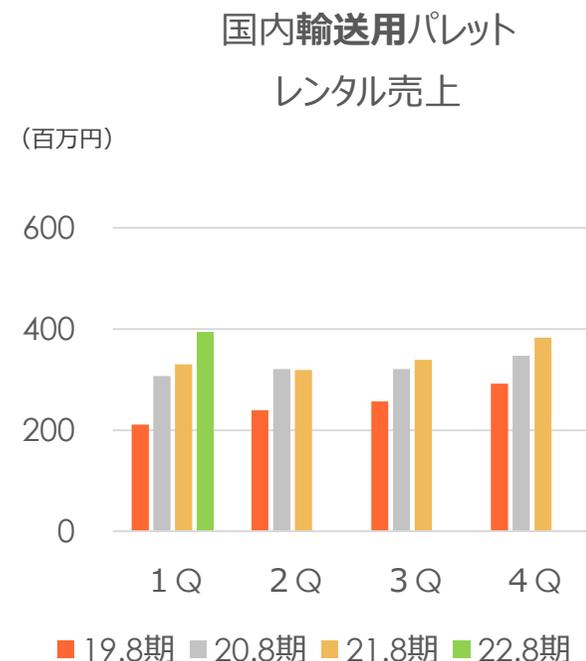
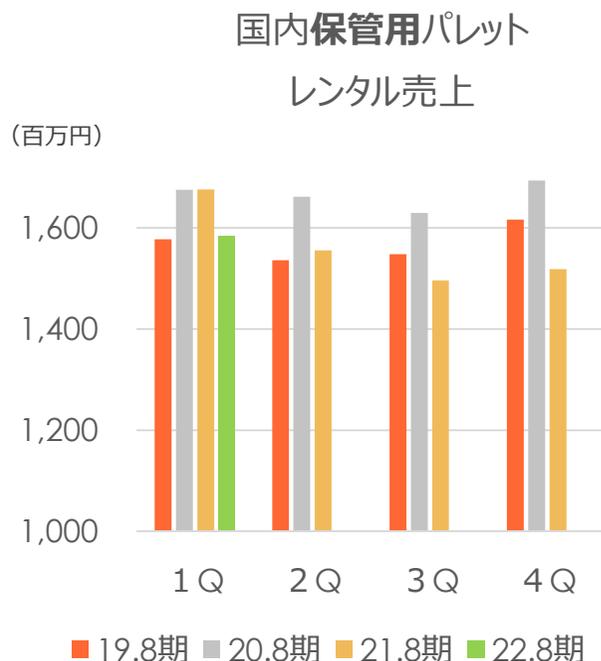
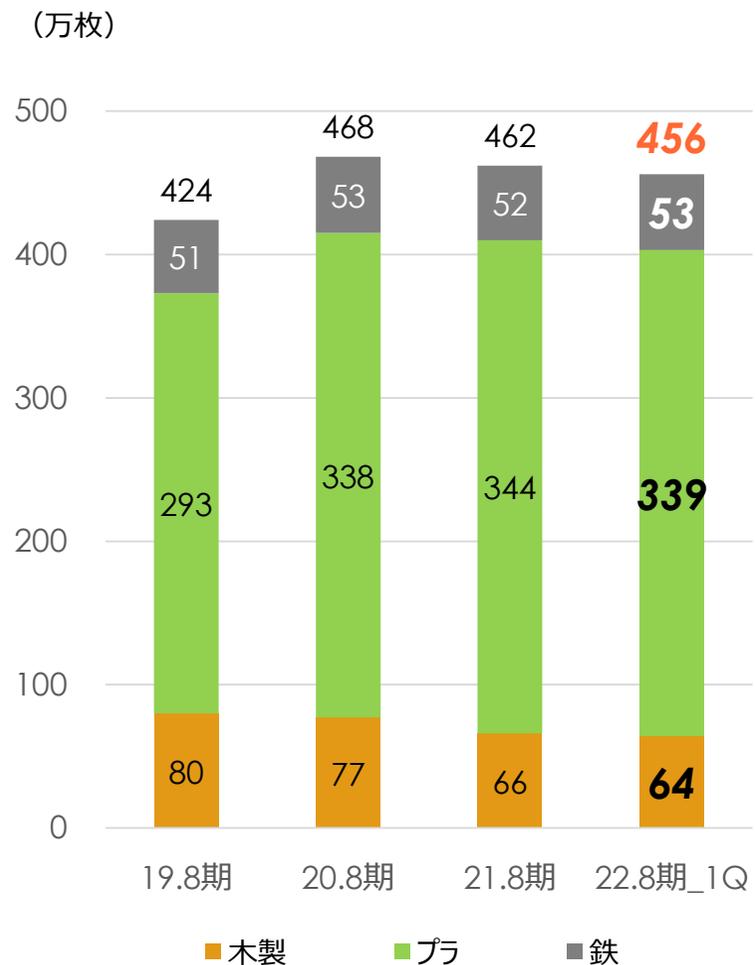
(単位：百万円)

	21.8期	22.8期_1Q	対前期末比 増減額	コメント
	流動資産	5,186	5,085	
現金及び預金	2,714	2,275	△438	レンタル資産購入及び借入金返済に充当
固定資産	13,341	13,479	137	
レンタル資産 (純額)	9,603	9,726	122	レンタルパレット購入
資産合計	18,528	18,564	36	
負債合計	11,312	11,150	△162	買掛金増加及び長期借入金減少
株主資本	7,195	7,394	198	利益剰余金の増加
純資産	7,215	7,414	198	
負債・純資産合計	18,528	18,564	36	
自己資本比率 (%)	38.8%	39.8%	1.0pt	

(百万円)



- 売上原価増に伴う粗利減
 パレット償却費や運送コストの増加、販売事業の売上増に伴う売上原価率上昇により粗利益が減少
- 人件費
 - ・人員増により給与増
 - ・賞与は業績を考慮し減少
- その他販管費
 - ・DX化推進に伴う経費増加
支払手数料：△18百万円
 - ・DX化推進に伴う経費減少
通信料、事務用品：+12百万円
 - ・その他の経費減少：+17百万円
- 営業外損益
 - 受取補償金：290百万円
(前年同期)
 - 受取補償金：43百万円
 - 保険解約益：75百万円





2022年8月期 業績予想の修正について
(2021年10月15日公表)

2022年8月期業績予想（2021年10月15日公表）の修正について



(単位：百万円)

	22.8期_1Q	22.8期_2Q 期初業績予想	22.8期_2Q 修正業績予想	対期初業績予想 増減額	対期初業績予想 増減率	22.8期_通期 期初業績予想 (修正なし)
売上高	3,302	6,574	6,574	—	—	13,831
売上総利益	1,035	2,134	2,070	△64	△3.0%	4,796
営業利益	170	322	260	△62	△19.4%	1,018
経常利益	465	412	575	162	39.4%	1,200
当期純利益	298	267	370	102	38.1%	779
1株当たり当期純利益	38円92銭	34円97銭	48円31銭	13円34銭	38.1%	101円77銭
EBITDA	1,115	1,739	1,898	158	9.1%	3,872

- 2022年8月期第1四半期において、レンタルパレットの大口紛失処理が発生し、営業外収益として受取補償金290百万円を計上しました
- このため、同第2四半期期間において、経常利益、および親会社株主に帰属する四半期純利益が公表値より30%以上上回るが見込まれるため、業績予想を修正いたします
- なお、通期の業績予想につきましては、レンタルパレット紛失によるレンタル売上減少の影響、提案型デポの設置及びコネクティッド事業における研究開発投資計画の追加、更に下期以降の新型コロナウイルス感染症の影響を予想するのが困難なため、現時点での修正は行いません
- 今後修正の適時開示が必要となる場合には、確定後、速やかに公表いたします

2022年8月期業績予想（2021年10月15日公表）の修正について



(単位：百万円)

		21.8期_2Q	22.8期_2Q 期初業績予想	22.8期_2Q 修正業績予想	22.8期_2Q 対期初業績予想 増減額	22.8期_2Q 対期初業績予想 増減率	22.8期_2Q 対修正業績予想 進捗率
物流事業	レンタル	4,212	4,481	4,381	△100	△2.2%	49.6%
	販売	1,411	1,324	1,452	127	9.6%	51.3%
	アシストスーツ	80	97	70	△27	△28.1%	40.3%
	物流IoT	183	232	232	—	—	45.6%
	合計	5,887	6,136	6,136	—	—	49.7%
コネクテッド事業	ICT	208	269	289	20	7.4%	56.5%
	ビークルソリューション	218	168	148	△20	△11.9%	58.9%
	合計	427	437	437	—	—	57.3%
全社合計 (うち海外)		6,314 (250)	6,574 (232)	6,574 (232)	— (—)	— (—)	50.2% (66.5%)

(単位：百万円)	21.8期_2Q	22.8期_2Q 期初業績予想	22.8期_2Q 修正業績予想	対期初業績予想 増減額	対期初業績予想 増減率	コメント
売上高	6,314	6,574	6,574	—	—	
売上原価	4,272	4,439	4,504	64	1.5%	販売売上増加により売上原価率上昇
売上総利益	2,042	2,134	2,070	△64	△3.0%	
売上総利益率	32.3%	32.5%	31.5%	△1.0pt	—	売上原価の上昇により売上総利益率悪化
販売費及び一般管理費	1,741	1,812	1,810	△2	△0.1%	
販管費率	27.6%	27.6%	27.5%	△0.1pt	—	
営業利益	300	322	260	△62	△19.4%	
営業利益率	4.8%	4.9%	4.0%	△0.9pt	—	
経常利益	479	412	575	162	39.4%	受取補償金の増加
経常利益率	7.6%	6.3%	8.7%	2.4pt	—	
当期純利益	297	267	370	102	38.1%	
当期純利益率	4.7%	4.1%	5.6%	1.5pt	—	
設備投資額	1,467	1,528	1,528	—	—	
減価償却費	1,262	1,305	1,305	—	—	
EBITDA	1,754	1,739	1,898	158	9.1%	
研究開発費	25	29	25	△3	△12.5%	

レンタル

レンタル事業が増収・回復基調

- 売上は21.8期の1Q以来、**前年同期比プラス**に転換
- 稼働率については、計画通り推移
- 港湾地区は戻りが鈍いものの、保管用パレットのレンタル売上も回復基調
- 輸送用パレットのレンタル売上については、引続き取扱量が拡大
- 大口のレンタルパレット紛失処理が発生し、営業外収益に想定を超える受取補償金を計上

受取補償金とは（レンタル売上との関係）

- お客様がレンタルパレット使用中に紛失・流失・破損した場合、当社のレンタル資産であることから、当社へ補償金をお支払いいただいている
- 収益面では、受取補償金の受領は短期的にプラス要因だが、一方でマイナス要因として、当面はレンタル売上の減少に繋がることや、償却が進んでいたパレットに代わり、新規のレンタルパレット購入することで、減価償却費負担が増加することが挙げられる
- お客様、当社とも収益に対してマイナス効果となるため、紛失リスクの低減、あるいは紛失による損害賠償リスクの低減のため、当社としては**スマートパレットやレンタルパレット紛失保証制度***を積極的に推進

※紛失保証制度とは、パレットが紛失した際に都度請求していた補償金を全額免除する制度

アシストスーツ

展示会からオンラインでの集客にシフト

- コロナ禍において効率的に拡販していくため、当社はいち早くアシストスーツをオンラインで拡販できる体制を構築
- 21.8期ではオンライン体験会を112回実施、参加者アンケート結果は**満足度90%超**
- 22.8期1Qではオンライン体験会を44回実施



※装着方法を説明する当社社員

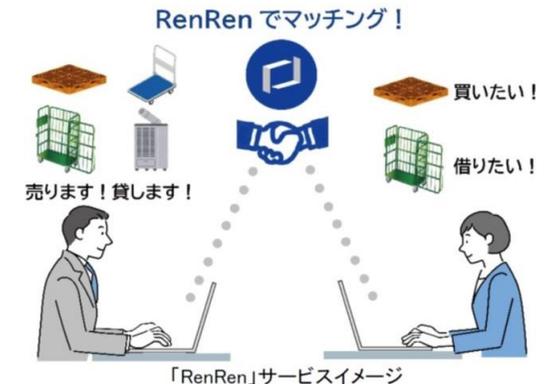


※オンラインで説明を受ける体験者

物流IoT

GDP需要取込により売上伸長・新サービス導入開始

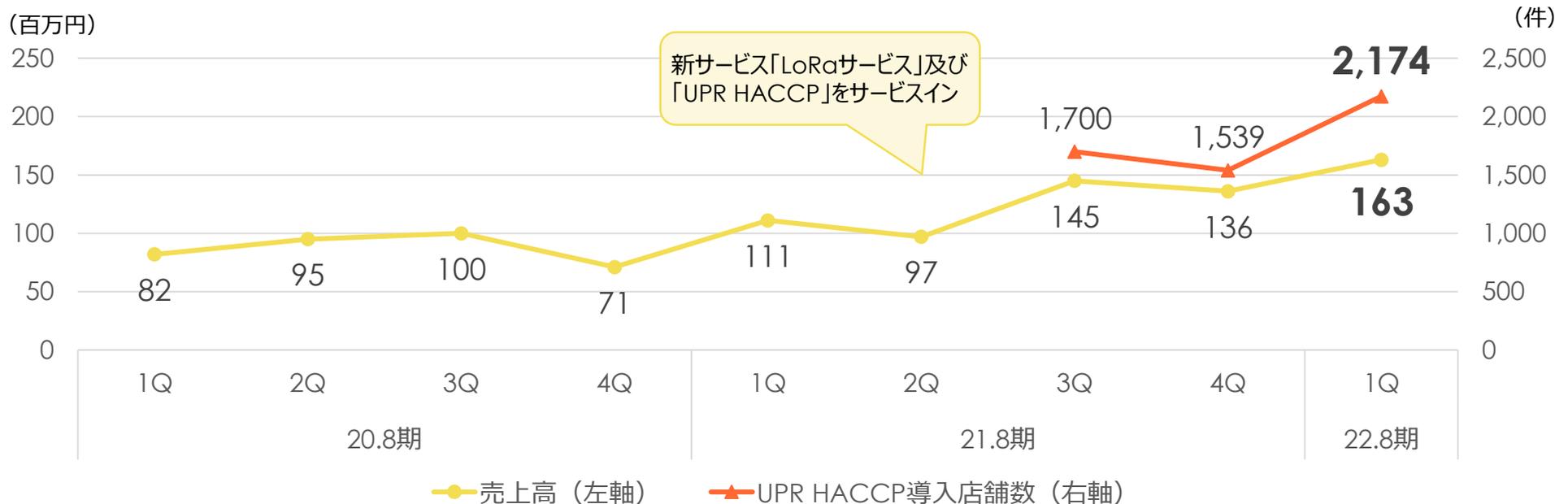
- 高度な管理が求められるワクチンなどの医薬品や検体等の輸送を担う物流会社の需要をうまく取り込み、売上が対前年同期比で**+19.5%伸長**
- 12月より、企業が保有する未稼働の物流機器を同業他社にレンタル・売買できるWebサービス「 **RenRen**」を、全国の物流事業者向けにサービスを開始



ICT

四半期売上で過去最高を更新

- 引き続き遠隔監視システム等の既存ビジネスが好調なのに加え、前期より導入した新サービスにおける新規顧客獲得が進んでおり、四半期売上163百万円（対前年同期比+46.9%）を計上し、**四半期売上としては過去最高を更新**
- ICT事業から派生して、新たに新規ビジネスグループを新設し、スマートパレットにも活用されている**当社独自技術のアクティブRFIDタグ**を用いて新たな需要を掘り起こす





年月	対象事業	トピックス
2021年9月	全社	当社HPの サステナビリティページ をリニューアル
2021年10月	全社	『新市場区分における「スタンダード市場」選択申請に関するお知らせ』を発表
	全社	当社の コーポレートブック を作成
2021年11月	全社	「第5回日経スマートワーク経営調査」3星に認定
2021年12月	物流IoT	B to Bマッチングサービス「RenRen」全国展開を開始

NIKKEI Smart Work



2022



売上高詳細（四半期毎）



(単位 売上：百万円 増減率：%)

		20.8期								21.8期								22.8期	
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q	
		売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率
物流事業	レンタル	2,114	9.5	2,108	10.3	2,106	6.9	2,227	7.2	2,170	2.6	2,042	-3.1	2,018	-4.2	2,104	-5.5	2,172	0.1
	販売	665	8.9	637	4.9	737	7.0	753	27.8	697	4.8	713	12.0	969	31.4	700	-7.1	744	6.7
	AS	46	130.0	41	9.3	39	-19.9	22	-31.8	40	-14.0	40	-3.9	41	6.4	52	129.2	28	-29.9
	物流IoT	80	-2.3	83	10.1	83	-3.3	94	13.3	88	10.0	94	13.2	109	30.3	106	12.9	106	19.5
	合計	2,908	9.9	2,871	9.1	2,966	6.2	3,098	11.3	2,997	3.1	2,890	0.7	3,138	5.8	2,963	-4.4	3,051	1.8
コネクティッド事業	ICT	82	54.3	95	15.2	100	-2.0	71	-13.6	111	34.4	97	1.8	145	45.1	136	92.3	163	46.9
	VS	136	31.7	125	31.3	132	-9.2	144	-3.3	108	-20.0	109	-12.2	117	-10.8	109	-24.0	87	-19.8
	合計	218	39.4	220	23.8	232	-6.3	215	-7.0	220	0.6	206	-6.2	263	13.3	246	14.4	250	14.0
	全社合計 (うち海外)	3,127 (152)	11.6 (26.1)	3,091 (100)	10.0 (-8.7)	3,199 (97)	5.1 (-1.6)	3,314 (126)	9.9 (9.7)	3,217 (128)	2.9 (-15.5)	3,097 (122)	0.2 (21.8)	3,401 (132)	6.3 (34.9)	3,210 (121)	-3.1 (-3.7)	3,302 (154)	2.6 (20.3)

AS = アシストスーツ VS = ビークルソリューション

※増減率は対前年同期比で計算しております



参考資料 2
2022年 8 月期 通期業績予想
(2021年10月15日 公表)

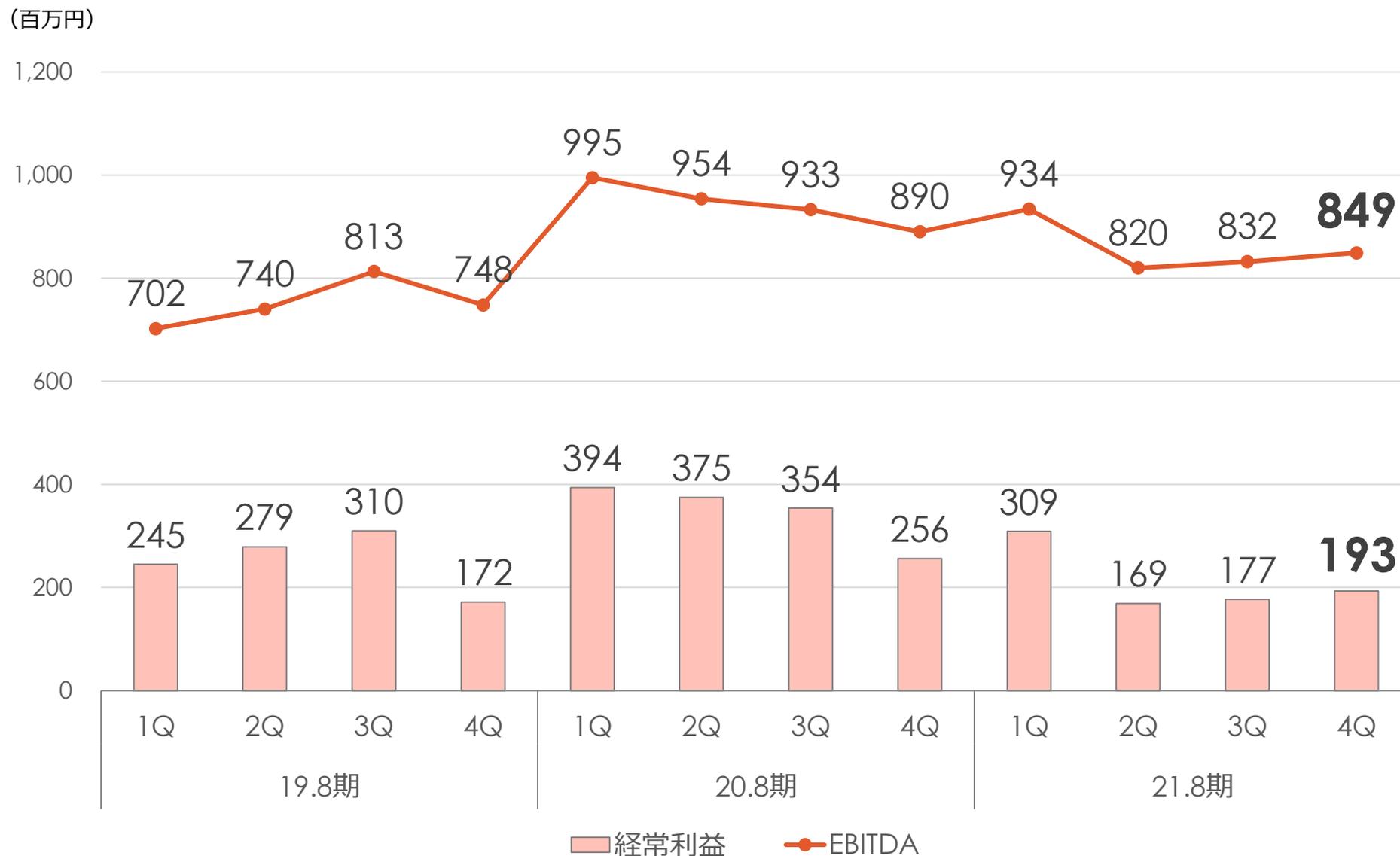
【業績予想策定前提】

- 22.8期も新型コロナウイルス感染症は終息せず、第六波の到来も予見されるが、ワクチン接種も進み、With コロナの中でも経済活動は徐々に回復していくものと想定
- 四半期毎にレンタル稼働率が上昇していくと想定しており、それに伴い下期にかけてレンタルの利益率も改善
- 次世代対応型事業においては順調に成長を続けており、引き続き高い需要が見込まれる

(単位：百万円)

	21.8期 2Q (実績)	22.8期 2Q (予想)	前期比		21.8期 通期 (実績)	22.8期 通期 (予想)	前期比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	6,314	6,574	259	4.1%	12,927	13,831	903	7.0%
営業利益	300	322	21	7.2%	530	1,018	488	92.0%
営業利益率	4.8%	4.9%	0.1pt	—	4.1%	7.4%	3.3pt	—
経常利益	479	412	△67	△14.0%	850	1,200	349	41.1%
経常利益率	7.6%	6.3%	△1.3pt	—	6.6%	8.7%	2.1pt	—
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	297	267	△30	△10.1%	561	779	217	38.8%
1株当たり配当 (円)	—	—	—	—	13	13	±0	0.0%

経常利益及びEBITDAの推移（四半期毎）



※19.8期第1四半期の各数値は金融商品取引法に基づく公認会計士監査を受けた数値ではありません。

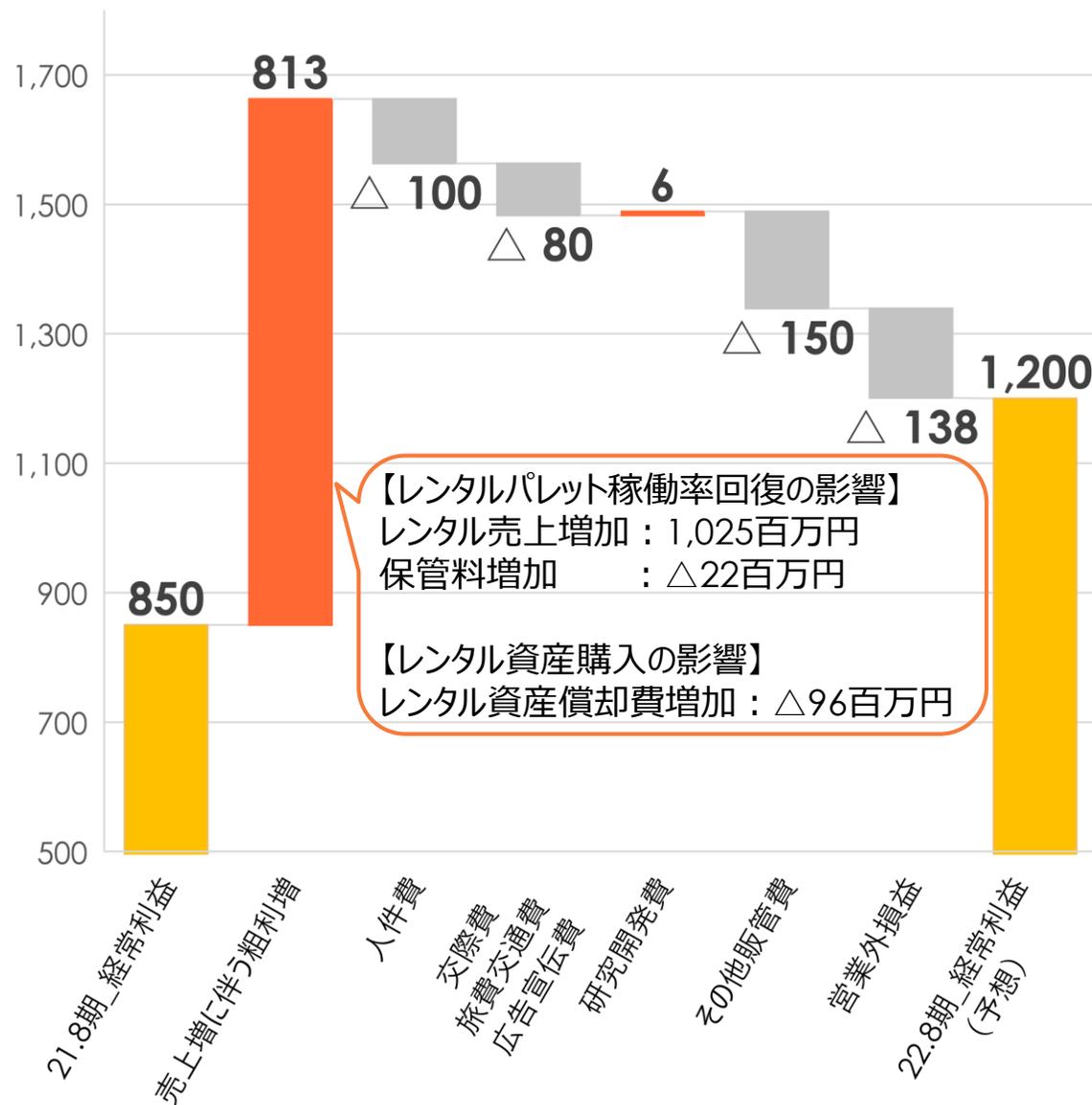
- 保管用レンタルパレットについては、経済の回復に伴い保管用パレットの需要が徐々に回復
- 輸送用レンタルパレットについては引き続き高い需要を見込む
- その他の次世代対応型事業については中期経営計画で掲げたとおり、新たな事業の柱とすべく、事業拡大を図る

(単位：百万円)

		21.8期_2Q (実績)	22.8期_2Q (予想)	対前年比		21.8期_通期 (実績)	22.8期_通期 (予想)	対前年比	
				増減額	増減率			増減額	増減率
物流事業	レンタル	4,212	4,481	268	6.4%	8,335	9,360	1,025	12.3%
	販売	1,411	1,324	△86	△6.1%	3,080	2,702	△378	△12.3%
	アシストスーツ	80	97	17	21.6%	174	280	105	60.5%
	物流IoT	183	232	49	26.8%	399	494	94	23.7%
	合計	5,887	6,136	248	4.2%	11,990	12,837	847	7.1%
コネクティッド事業	ICT	208	269	61	29.3%	490	572	81	16.6%
	ビークルソリューション	218	168	△50	△23.1%	446	421	△24	△5.5%
	合計	427	437	10	2.5%	937	993	56	6.0%
全社合計 (うち海外)		6,314 (250)	6,574 (232)	259 (△18)	4.1% (△7.3%)	12,927 (504)	13,831 (467)	903 (△37)	7.0% (△7.4%)

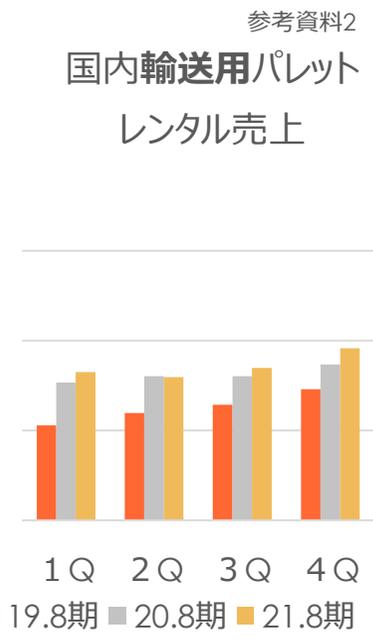
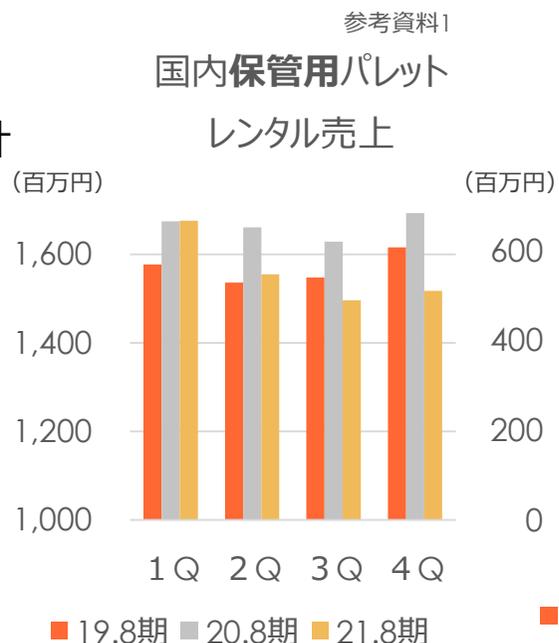
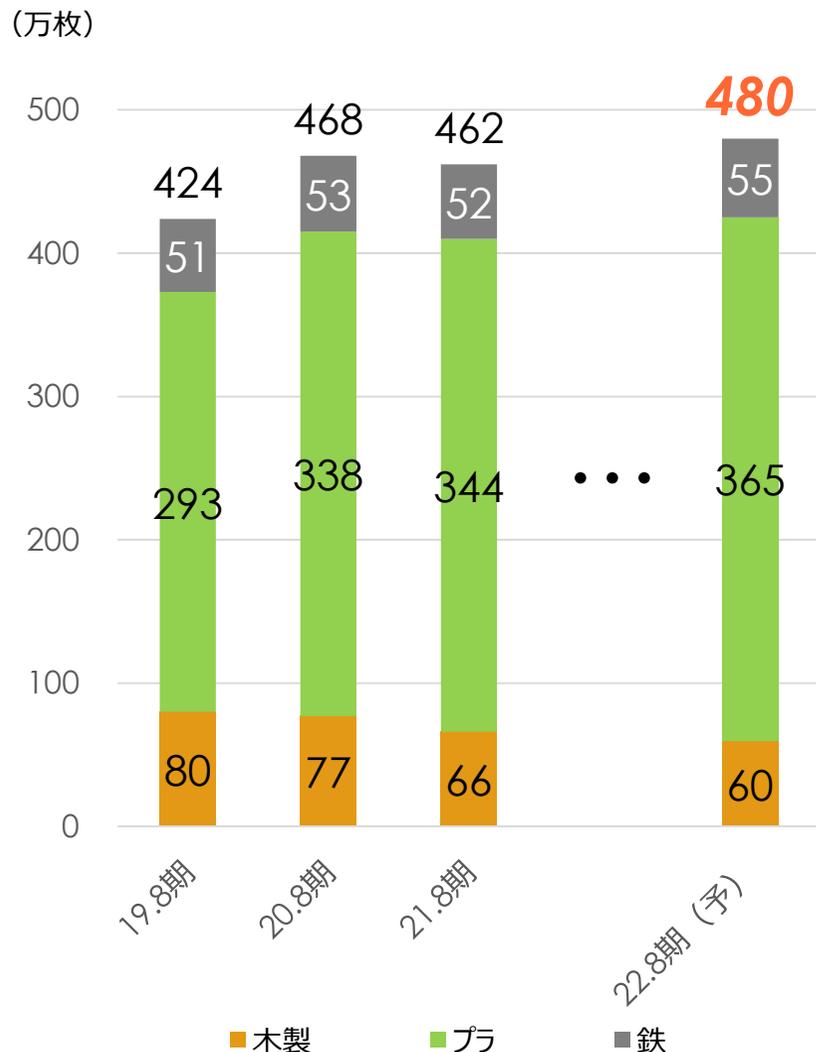
(単位：百万円)

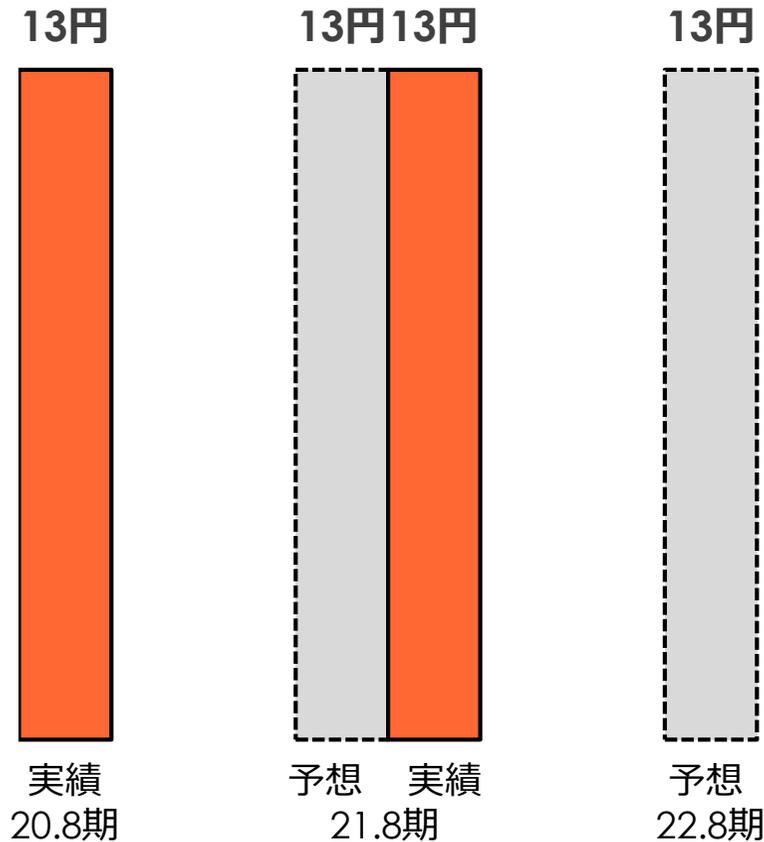
	21.8期_2Q (実績)	22.8期_2Q (予想)	対前年比		21.8期_通期 (実績)	22.8期_通期 (予想)	対前年比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	6,314	6,574	259	4.1%	12,927	13,831	903	7.0%
売上原価	4,272	4,439	167	3.9%	8,944	9,035	90	1.0%
売上総利益	2,042	2,134	92	4.5%	3,982	4,796	813	20.4%
売上総利益率	32.3%	32.5%	0.2pt	-	30.8%	34.7%	3.9pt	-
販売費及び一般管理費	1,741	1,812	70	4.0%	3,452	3,777	325	9.4%
販管費率	27.6%	27.6%	0.0pt	-	26.7%	27.3%	0.6pt	-
営業利益	300	322	21	7.2%	530	1,018	488	92.0%
営業利益率	4.8%	4.9%	0.1pt	-	4.1%	7.4%	3.3pt	-
経常利益	479	412	△67	△14.0%	850	1,200	349	41.1%
経常利益率	7.6%	6.3%	△1.3pt	-	6.6%	8.7%	2.1pt	-
当期純利益	297	267	△30	△10.1%	561	779	217	38.8%
当期純利益率	4.7%	4.1%	△0.6pt	-	4.3%	5.6%	1.3pt	-
設備投資額	1,467	1,528	60	4.2%	2,099	4,651	2,551	121.5%
減価償却費	1,262	1,305	43	3.5%	2,559	2,629	70	2.8%
EBITDA	1,754	1,739	△14	△0.9%	3,437	3,872	435	12.7%
研究開発費	25	29	3	15.3%	91	85	△6	△6.8%



- レンタル稼働率の回復による売上利益率の改善を主因とし、対前年比粗利益増加額813百万円
- 人件費
 対前年比5人増
- その他販管費
DX化の推進を図るため、支払手数料等が増加 (対前年比+161百万円)
- 営業外損益
 21.8期
 保険解約返戻金：75百万円

- 22.8期においてもパレットの稼働率等を勘案しながら、需要に合わせてパレットの保有枚数を増加させていく方針





【基本方針】

- 親会社株主に帰属する当期純利益の10%程度を配当総額とする
- 対前期減配しないことを原則とする
 1. 2021年8月期の1株当たり配当金は13円
 2. 上記基本方針に則り、2022年8月期の1株当たり配当金も13円とする予定

【免責事項】

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や安全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは安全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって大きく差異が発生する可能性があります。なお、当社は新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料は、投資勧誘目的で作成されたものではありません。

実際に投資を行う際は、本資料を全面的に依拠した投資判断を下すことはお控えください。

いかなる目的でも、本資料の一部または全部を、無断で転載、二次利用することはご遠慮ください。